

1 チモ

2 **確認試験(2)を次のように改める。**3 **確認試験**

4 (1) 本品の粉末0.5 gを試験管にとり、水10 mLを加えて
5 激しく振り混ぜるとき、持続性の微細な泡を生じる。また、
6 これをろ過し、ろ液2 mLに塩化鉄(III)試液1滴を加えるとき、
7 黒緑色の沈殿を生じる。

8 (2) 本品の粉末1 gに1 mol/L塩酸試液10 mLを加え、還流
9 冷却器を付けて水浴上で30分間加熱する。冷後、遠心分離
10 し、上澄液を取り除く。残留物にジエチルエーテル10 mLを
11 加え、10分間振り混ぜた後、遠心分離し、上澄液を試料溶
12 液とする。別に薄層クロマトグラフィー用サルササボゲニン
13 1 mgをメタノール1 mLに溶かし、標準溶液とする。これら
14 の液につき、薄層クロマトグラフィー (2.03) により試験を
15 行う。試料溶液及び標準溶液5 μ Lを薄層クロマトグラフィー
16 用シリカゲルを用いて調製した薄層板にスポットする。次
17 にヘキサン/アセトン混液(7:3)を展開溶媒として約7 cm展
18 開した後、薄層板を風乾する。これに噴霧用バニリン・硫
19 酸・エタノール試液を均等に噴霧し、105 $^{\circ}$ Cで2分間加熱す
20 るとき、試料溶液から得た数個のスポットのうち1個のスポ
21 ットは、標準溶液から得たスポットと色調及び R_f 値が等し
22 い。

23 -----

24 **9. 41 試薬・試液の項に次を追加する。**

25 **サルササボゲニン、薄層クロマトグラフィー用** $C_{27}H_{44}O_3$

26 本品は白色又はわずかに灰色を帯びた白色の結晶性の粉末又
27 は粉末で、メタノール又はエタノール(99.5)に溶けにくく、
28 水にほとんど溶けない。

29 **確認試験** 本品につき、赤外吸収スペクトル測定法 (2.25)
30 の臭化カリウム錠剤法により測定するとき、波数2930 cm^{-1} 、
31 1448 cm^{-1} 、1173 cm^{-1} 、985 cm^{-1} 及び850 cm^{-1} 付近に吸収を
32 認める。

33 **純度試験** 類縁物質 本品1 mgをメタノール1 mLに溶かし、
34 試料溶液とする。この液0.5 mLを正確に量り、メタノール
35 を加えて正確に25 mLとし、標準溶液とする。これらの液に
36 つき、薄層クロマトグラフィー (2.03) により試験を行う。
37 試料溶液及び標準溶液5 μ Lにつき、「チモ」の確認試験(2)
38 を準用して試験を行うとき、試料溶液から得た R_f 値約0.4の
39 主スポット以外のスポットは、標準溶液から得たスポットよ
40 り濃くない。

41